© ていたん＆ブラックていたん，北九州市

北九州市の教育

第46号
2026.11

未来をひらく

編集・発行
北九州市教育委員会総務企画部企画調整課
〒803-8510 北九州市小倉北区大手町1番1号
TEL. 093-582-2357 FAX. 093-581-5871
Email. kyou-kikaku@city.kitakyushu.lg.jp

広報紙「北九州市の教育 未来をひらく」に関する皆さんのご意見・ご感想をお待ちしています。

フェイスブックもご覧ください!
北九州市教育委員会 Facebook

特集　これからの時代を生きる力を育てる学力向上への「3つのアプローチ」

変化が激しく、「正解」が一つとは限らないこれからの時代において、こどもたちには、知識や技能を身に付けることに加え、自ら問いを見つけ、考え、周りの人と協力しながら、自分なりの答えを導き出す力が求められています。

北九州市では、こうした「これからの時代に必要な学力」を育むため、「AI＋読書」の強化、「体験機会」の強化、「脱・暗記重視」の3つのアプローチで、こどもたちの学力向上に取り組んでいます。

「AI＋読書」の強化　「体験機会」の強化　「脱・暗記重視」

「AI＋読書」の強化

◆AI型学習アプリ「キュビナ」の活用が広がっています



令和8年7月から市立の全小・中・特別支援学校でAI型学習アプリ「キュビナ（Qubena）」の活用を進めています。

キュビナは、AIが一人ひとりの解答状況を分析し、つまずきの原因となった内容までさかのぼって出題する「オーダーメイドの学び」を届けるアプリです。ノートでじっくり考えるこれまでの学びも大切にしながら、新しい道具として組み合わせていきます。利用にあたっては「30分に1回は目を休める」などのルールを設け、健康面にも配慮しています。

こどもたちが「わかる喜び」を実感し、自分に合った学び方を自分で選べる「自律的な学習者」へと成長できるよう、学校・家庭で力を合わせて取り組んでまいります。

保護者の皆様には、頑張って取り組んだ過程をほめたり、少しずつできることが増えていく様子を見守ったりするなど、お子様の日々の学びを応援していただければ幸いです。

なお、11月5日現在、児童生徒用タブレット端末（Chromebook）の使用を停止しております。再開が決定次第、改めてお知らせいたします。

「AI型教材「キュビナ」、福岡県北九州市で正式採用」

◆「学校まるごと図書館」を進めています







北九州市では、こどもたちの読書活動推進にも力を入れています。

令和8年3月に新たな「北九州市子ども読書プラン」を策定し、そのプランに基づき、様々な取組を行っています。

その一つである、「学校まるごと図書館」は、こどもたちの身近なところ、手の届きやすいところに本がある環境をつくろうと、北九州市立の学校で行っている取組です。

廊下や空きスペースに、ミニ図書館や図書コーナーを設置するなどして、こどもたちが本に触れやすい環境づくりに努めています。

「体験機会」の強化

変化が激しく、正解がないこれからの時代を生きるこどもたちにとって、主体的に体験し、学び続けることが大切です。北九州市教育委員会では、こどもたちが体験活動を通じて、これからの生き方について考える機会を提供し、こどもたちの興味・関心や探究心につながる多様な体験機会の充実に取り組んでいます。

◆たいけん・まなび充実大作戦

教育目標やこどもたちの思いをふまえ、各学校でテーマを決め、行先や内容を自由に選択して行う校外での体験活動を実施しています。

◆みらい探究プロジェクト

体験活動を通じて、こどもたちが「なりたい自分」「好きなこと・得意なこと」「興味・関心をひきつけるもの」に出会い、こども自身がこれからの生き方を主体的に考える機会を提供するため、「北九州みらい探究教室」を実施しています。





「脱・暗記重視」

北九州市教育委員会では、決まった正解のない課題に自ら取り組み、他者と協働して自分なりの答えを導く力を育てるための取組を実施しています。

◆スー1★GP（令和8年10月18日開催）

中学生が数学への興味を深め、将来北九州市を支える理工系人材の育成につなげるため、中学生を対象に、数学的思考力を競い合うスー1★GPを開催しました。

当日は、大学教授等が作成した数学の問題に、中学生が3人1組のチームで挑戦しました。試験後には、ワークショップや講演会を行い、理工系分野への興味関心をさらに深め、進路選択のきっかけや学ぶ楽しさを知ることができました。





◆理工系人材の育成に向けた取組

「2026理科のチカラ、北九州のチカラ。科学で変わるキミの未来」（令和8年7月5日開催）

小・中高生が理工系分野に興味・関心を持ち、将来の進路やキャリア選択について考えるきっかけとなることを目的として、サイエンスエンターテイナーの五十嵐美樹さんを講師に迎え、サイエンスショー及び講演会を開催しました。





◆でんきのヒミツ発見‼ エネルギー冒険ツアー（令和8年8月20日開催）

九電グループ及び北九州市立大学と連携し、小中学生を対象に、バスツアーを開催しました。

当日は、ワークショップ「2040年のエネルギーミックスを考えよう」、理工系の先輩との交流、洋上風力発電の見学などを行い、電気やエネルギーについて楽しく学ぶことができました。





新任教育委員のご紹介



河野 智文
（福岡教育大学 教授）

令和8年7月より、北九州市教育委員を拝命いたしました河野智文（かわの　ともふみ）です。これまで福岡教育大学において、国語科教育の研究と教員養成に携わり、こどもたちが言葉を通して考え、他者との対話を重ねながら、自らの学びを深めていくための授業づくりについて研究・実践を重ねてまいりました。また、教育委員就任前には、北九州市子ども読書活動推進会議の委員として、本市のこどもたちの読書活動の推進にも関わってまいりました。

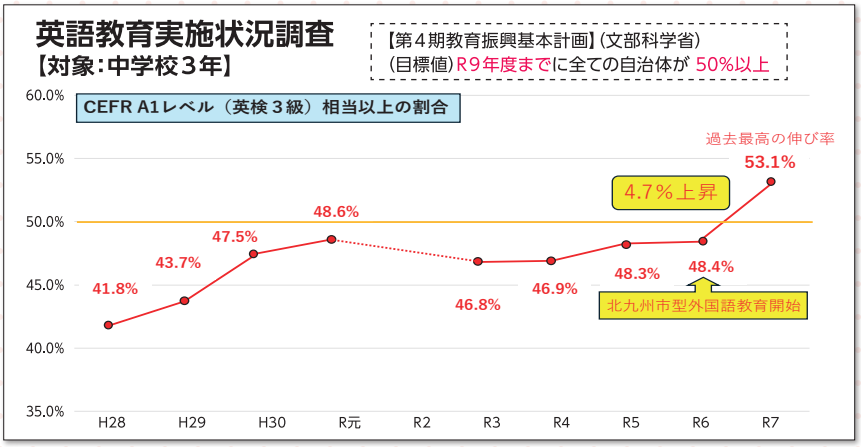
社会が急速に変化し、AIをはじめとする新しい技術が私たちの生活や学びの中に広がる今、こどもたちには、知識を受け取るだけではなく、多くの情報の中から必要なものを判断・選択し、自ら問いを持ち、考え、他者と話し合いながら、新たな学びを創り出していく力が求められています。その土台となるのが、言葉に親しみ、読書を通して多様な考えや世界に触れる経験であると考えています。

一方で、こどもたちの学びを支えるためには、教職員自身が学び続け、日々の授業をよりよいものにしていくことも大切です。私自身の専門性や学校現場との関わりの経験を生かしながら、国語教育や読書活動に限らず、幅広い視点から北九州市の教育について考え、すべてのこどもたちが学ぶことの楽しさを感じ、自分らしく成長していけるよう、教育委員として全力を尽くしてまいります。

北九州市のこどもの英語力が高まっています！

① 調査結果

令和7年度に実施された「英語教育実施状況調査」（文部科学省）において、北九州市の中学校3年生のCEFR A1レベル（英検3級）相当以上の割合が調査開始後初めて50%を上回りました。



② 取組の内容

北九州市では、近年、アウトプット（話す・書く活動）を重視した本市独自のカリキュラムの展開により、小学校1年生からの英語体験活動の開始、小中9年間を通じて「自分の考えや気持ちを即興的に伝える」こどもの育成を推進しており、令和7年度からは「北九州市型外国語教育」として、全ての市立小中学校で実施しています。

今回の結果は、これまでの授業改善に加え、こうした取組の成果の一部と捉えており、引き続き、外国語教育の充実を図っていきます。

★北九州市型外国語教育の特徴★

❶アウトプット（話す・書く活動）を重視した本市独自のカリキュラム
❷小学校低学年からの英語体験活動と9年間の系統性のある外国語教育
❸学習したことを試す場の設定（ALTと1対1のやり取り等）

③ 今後の展望

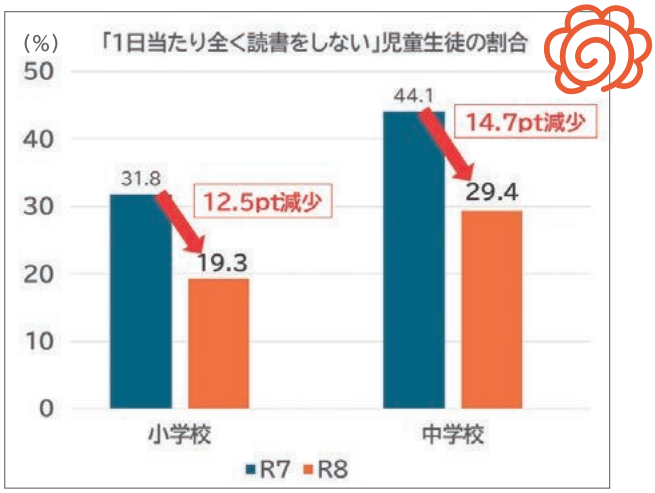
北九州市と世界の架け橋となる人材の育成に向けて、こどもが英語を使う楽しさを実感できるよう、外国語教育の一層の推進を図っていきます。オンラインや対面でのイベントも実施していますので、今後ともご期待ください。

令和8年度　全国学力・学習状況調査の結果について

学力には、テストで測ることができる目に見える力「知識・技能」や「思考・判断・表現」だけでなく、学習への意欲や習慣といった「学びに向かう力・豊かな人間性」があります。今回の調査では、その土台となる「学びに向かう力」を中心に、素晴らしい変化が見られました。

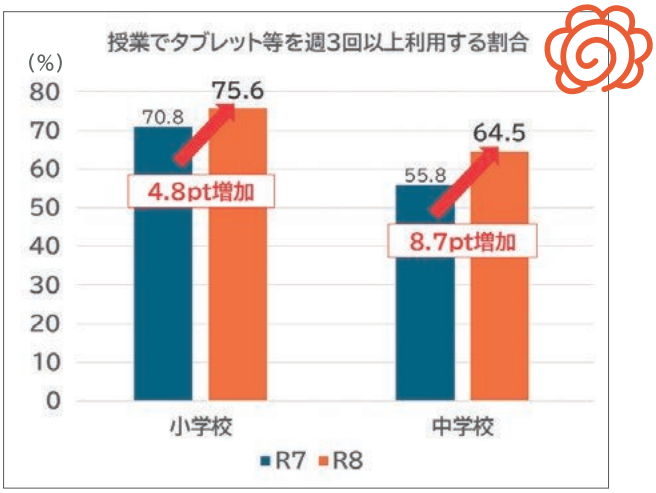
●北九州市のこどもたちの「学びに向かう姿勢」の大きな成長!

○読書習慣の確実な向上！



「全く本を読まない」と回答したこどもが大幅に減っています。学校図書館の活用等で、日常的に本を開き、本に親しむ習慣がしっかりと根付いてきています。

○ＩＣＴ端末（タブレット等）を活用した学びが日常に！

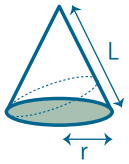


「授業でタブレット等を週3回以上使う」と回答したこどもが大幅に増えています。単に使うだけでなく、自分のペースで調べたり考えをまとめたりする「新しい学び方」が定着しています。

●記述式問題や思考力・表現力を問う問題の正答率が改善傾向

小学校国語	記述式問題（昨年度比+0.9ポイント）↗
中学校国語	「思考・判断・表現」の「書くこと」（昨年度比+0.6ポイント）↗ 記述式問題（昨年度比+0.1ポイント）↗
中学校数学	計算や数式の成り立ち「数と式」（昨年度比+2.3ポイント）↗ グラフの傾向を読み解く力「関数」（昨年度比+0.9ポイント）↗
中学校英語	「書くこと」の白紙（無回答）の割合が全国平均をすべて下回る





●各教科の課題　文章や情報を正しく読み解く「読解力」

各教科に共通して「文章や資料の要点を正しく読み解く力（読解力）」には、まだ課題が残っています。

今後の取組

北九州市の課題である「読解力」向上へ、今取り組んでいる「読書習慣」をより深めていきます。学校だけでなくご家庭でも本に親しむ環境づくりをお願いします。また、定着してきた「タブレット等の活用」をもとに、AI型学習アプリを活用して一人ひとりの得意・苦手やペースに合わせた学習を推進し、基礎学力の定着や自ら進んで学習する習慣づくりを応援します。
さらに、先生が教えるだけでなく、こども同士が話し合いながら楽しく深く学べる授業づくりにも市全体で取り組み、こどもたちの可能性をさらに伸ばしていきます。

ひまわり文庫の利用促進について

本市には、14館の図書館が設置されていますが、図書館まで行かなくても自宅に近い場所で気軽に利用できるアウトリーチサービスとして、主に市民センター等の公共施設にひまわり文庫を設置しています。

ぜひ、ご活用ください。



利用方法

1. 貸出冊数　一人、4冊以内
2. 貸出期間　2週間以内
3. 貸出方法　窓口備え付けの申込書に必要事項を記入し、施設の職員に提出
   ※図書館カードは不要です。住所・氏名を確認できるもの（運転免許証、マイナンバーカード、健康保険資格確認書等）をお持ちください。

11月8日は「いい歯」の日です。家族みんなで「いい歯」で「歯ッピー」♥

歯と口の健康は、おいしく食べることや楽しく会話をすることだけでなく、全身の健康にも深く関わっています。こどもの頃から正しい歯みがきの習慣や規則正しい食生活を身に付けることは、生涯にわたる健康づくりの第一歩です。北九州市の学校では、歯科健康診断や歯科保健教育、食育などを通して、こどもたちの歯と口の健康づくりに取り組んでいます。

ご家庭でも学校での取組の成果が出ていると思いますので、「歯みがきできたかな？」「よく噛んでいるかな？」と、歯と口の健康についての会話を楽しんでみてください。家族みんなで歯と口の健康に関心をもち、「いい歯」で「歯ッピー」な毎日を目指しましょう。

むし歯予防対策として、国も歯みがきと併せてフッ化物の利用を推奨しています。

◎全市立小学校でフッ化物洗口を実施しています。ご希望の方は、各学校にお申し込みください。

令和7年度実施率 77.6%

- フッ化物洗口法：週1回、フッ化物洗口液10mℓで1分間ブクブクうがいをします。
- 対象：市立小学校全学年の児童の希望者
- 費用：無料（全額公費負担）

◆説明用動画「予防戦隊ハダイジャー フッ化物洗口のススメ」
https://youtu.be/reyThfhj86k

◎市立特別支援学校でフッ化物塗布を実施しています。

- フッ化物歯面塗布法：年2回、フッ化物を歯ブラシ等で塗布します。
- 対象：市立特別支援学校小学部の希望者
- 費用：無料（全額公費負担）



◎歯と口の健康づくりに関するお知らせ「健口力（けんこうりょく）アップ通信」を、配信しています。ご家庭での歯と口の健康づくりにお役立てください。次号は12月に配信予定です。

学校給食インスタグラムで発信中！

毎日の献立のほか、給食のレシピや使用している食材、給食ができるまでの様子など、北九州市の学校給食の魅力がいっぱい！

フォロワー 1.8万人 突破！

アカウントのフォロー、投稿へのいいね！ぜひよろしくお願いします。

KITAKYUSHU_KYUSHOKU

https://www.instagram.com/kitakyushu_kyushoku?igsh=YXg4NDRkaGZiamVw


チーズハンバーグ


さばのぬか炊き